JHL NEWS

No. 1
2015年11月2日
●発行●
日本ハンドボールリーグ機構
会長　多田　博
東京都渋谷区神南1-1-1
電話　03-3481-2494

短期間での連戦続く激しいシーズン

～開幕迫る　第40回日本ハンドボールリーグ～

40回目の節目を迎える日本ハンドボールリーグが、いよいよスタートする。例年、男女同時スタートになるが、今回は翌年に控えるリオデジャネイロ・オリンピックのアジア予選（女子・10月20～25日＝名古屋、男子・11月14～27日＝カタール）などで男女別々に開幕する。

11月14日に始まる男子は、リオ・オリンピックアジア予選と日程が重なる序盤戦を日本代表選手は欠場するのが決定的。また、アジア選手権（2016年２月13～24日＝UAE）の期間中もリーグ戦が組まれているため、代表選手を抱える上位チームにとっては厳しいスケジュールだ。

そうした中でも、大同特殊鋼、大崎電気、トヨタ車体の〝３強〟の優位は動かないだろう。チーム史上３度目の５連覇を狙う大同は、プレーオフで毎回真価を発揮する。王座奪還に燃える大崎と戦力充実の車体は、代表選手不在の期間をどう乗り切るか。５月の全日本社会人選手権決勝リーグでは、いずれも１勝１敗と互角な３チームなだけに、激しいツバ競り合いとなりそう。前回大会でプレーオフ初進出を果たした琉球コラソンをはじめとした４位争いは、さらに加熱する予感。着実にレベルアップしているトヨタ自動車東日本、名門・湧永製薬に豊田合成、トヨタ紡織九州が争いに加われるか。大胆な若返りを図った北陸電力の勢いが中位陣をかき乱す可能性もある。

前回までの３回戦総当たりから、今回は２回戦総当たりと試合数が減った女子は、来年１月９日に開幕し３月までの２ヵ月間で12試合を戦う過密日程になっている。

前回大会で悲願のプレーオフ制覇を成し遂げた北國銀行は今大会も優勝候補。横嶋かおる、彩の姉妹を筆頭に守護神・寺田らが健在なうえに、全日本社会人選手権と国体を制して２冠と隙がない。その北國の連覇を阻もうとオムロン、広島メイプルレッズ、ソニーセミコンダクタが追いかける。新たに櫛田監督を迎え入れた三重バイオレットアイリスは、全日本社会人選手権で３位と好調な滑り出し。三重のあとを飛騨高山ブラックブルズ岐阜、HC名古屋が続く展開か。上位４チームにどれだけ食い下がれるか注目したい。

㊤５連覇を狙う大同特殊鋼・久保（侑）
㊦２連覇に挑む北國銀行・横嶋（彩）

第１週の日程

11月14日(土)	東京	墨田区体育館（ＪＲ総武線錦糸町駅徒歩５分）	12:00～	(男)	豊田合成×琉球コラソン
			15:00～	(男)	大崎電気×湧永製薬
			17:00～	(男)	大同特殊鋼×トヨタ自動車東日本
		武蔵村山市総合体育館(多摩モノレール上北台駅からバス(市民総合体育館行))	14:30～	(男)	トヨタ車体×トヨタ紡織九州
11月15日(日)	東京	武蔵村山市総合体育館(多摩モノレール上北台駅からバス(市民総合体育館行))	12:00～	(男)	大崎電気×豊田合成
			14:30～	(男)	湧永製薬×大同特殊鋼
	山梨	緑が丘スポーツ公園体育館(JR中央線甲府駅から車15分)	11:30～	(男)	北陸電力×トヨタ車体
			13:30～	(男)	トヨタ紡織九州×琉球コラソン

40th 2015～16 Season TEAM PREVIEWS　男子

大同特殊鋼

　昨シーズンまでプレーオフは４連覇、そして18連勝中と無類の強さを誇る王者だが、エース高景洙が退団。得点源の１人を失った穴をどこまでカバーできるかに注目が集まる。５月の全日本社会人選手権では３年目の久保（龍）が左バックに入り好調さをアピールした。また、２年目の左腕・池辺も末松監督の期待は大きい。ケガが癒えただけに、今シーズンこそブレイクなるか。そうした若手の勢いを支えるのが、ベテランの経験だ。武田、千々波による縦のディフェンスラインの安定感はリーグ屈指。勝ち方を知る岸川、野村らとともにチーム一丸となり、３度目の５連覇をめざす。

大崎電気

　５月の全日本社会人選手権、10月の国体とそれぞれ優勝し、ここまで２冠。とくに国体は、岩本総監督をはじめ、日本代表候補選手８人を欠いた状態だった。シーズン序盤は、同じようにリオデジャネイロ・オリンピックアジア予選に出場するメンバーが不在となるが、国体を制したことは大きな自信につながったはずだ。主軸の豊田、信太、森、ＧＫ木村だけでなく、植垣（健）やルーキーのＧＫ村上、柴山の台頭がチーム内の競争に刺激を与えている。もちろん、狙うはプレーオフ制覇。３月の決戦で最高のパフォーマンスが披露できるかが大きなポイントになる。

トヨタ車体

　開幕を控え、ケガ人続出で苦しい状態。最終目標の３月までにどこまで照準を合わせていけるか。しかし、今シーズン好調の大崎電気に黒星をつけたのは、この車体だけ。精神的に優位な点だ。選手では、昨シーズン、笠原が一本立ちし、さらに津屋や熊谷、菅野も伸びてきている。そこにＧＫ加藤、内海、玉城の有力ルーキートリオが加わり選手層に厚みを増した。高智、石戸、渡部らの日本代表組の共演が楽しみだ。また、富田、藤田を同時投入するダブルワイドポストなど戦術も多彩。持ち味のフィジカルの強さを軸に、今シーズンこそ悲願のＶなるか。

琉球コラソン

　リーグ加入７年目の昨シーズン、レギュラーシーズンを４位で終え、ついに目標としていたプレーオフ出場をかなえた。大きな達成感とともに、また改めて日本一に挑戦する気持ちが芽生えたシーズンでもあった。しかし、主軸の東長濱が引退。攻守で替えの効かない選手だっただけに、大幅な戦力ダウンは否めない。それでも新加入の赤塚、大和田らでカバーし、攻守で新しいスタイルに取り組んでいるようす。昨シーズン個人賞５冠に輝いたエース棚原を筆頭に、新キャプテン松信、センター水野は健在なので、２年連続の駒沢行きのチャンスは充分。

トヨタ自動車東日本

　３シーズン目となった前回大会は、４位の琉球コラソンと勝点で並ぶも、対戦間成績で惜しくも５位。プレーオフ進出とはならなかったが、着実に戦力はアップしている。玉井、濱口、山田のバックプレーヤートリオは年々強さを増し、昨シーズンのベスト７に選ばれた左サイドの松本も心身充実。５月の全日本社会人選手権では吉田や川端、上野の奮闘もあり４位と過去最高成績を収めた。開幕までに、全員が連動したアグレッシブなディフェンスの連携をさらに高めていきたいところ。そのディフェンスがよく機能すれば、上位陣とも互角に戦えるはずだ。

湧永製薬

　40大会連続出場となる広島の名門。昨シーズンは第24回大会から続いていたプレーオフ出場を逃し、６位とふるわなかった。中山監督復帰２年目を迎え、５月の全日本社会人選手権では５位とまずまずのスタート。ディフェンス面では鉄壁の守護神・志水が健在で、新キャプテン仁平の活躍がカギを握りそうだ。また、伝統の６：０だけでなく、５：１ディフェンスにも取り組んでいる。オフェンス面では野村、子安の安定感を増した両サイドに、谷村や中浦がどこまで絡めるか。４位争いは今シーズンも混戦が予想されるだけに、接戦をものにし、２年ぶりのプレーオフ行きを決めたい。

豊田合成

　開幕戦で大同特殊鋼に勝利するという最高のスタートを切りながらも、その後は後退し、昨シーズンは７位でフィニッシュ。決して満足できる結果ではないだけに、今シーズンでの巻き返しを図る。そういった意味でパワフルポスト橋本、湧永製薬から移籍してきた樋口ら、新加入選手への期待値は高い。とくに樋口は、名門で培ってきた豊富な経験をこのチームに還元したいところ。開幕までに、エース小塩や左腕サイド出村ら既存の戦力との連携を高めていきたい。キャプテン加藤が中心となり、序盤の３試合で波に乗れれば、悲願のプレーオフ進出も近づくだろう。

トヨタ紡織九州

　プレーオフに進出した第35回大会以降、世代交代が遅れたツケが回り順位を落としている。昨シーズンは石黒監督を新たに迎え、一気に若返り。ルーキーイヤーの田中、八巻を辛抱強く起用し、要所をベテランの中畠、栗崎らが締めた。今シーズンもそういったメンバーに加え、松浦や荒川ら新加入選手のプレータイムも多くなるだろう。司令塔を担う柳も強い意気込みで臨んでくるはずだ。前回大会は10敗を喫したが、５点差以内が５試合、引き分けも３試合と、接戦は多い。若手が勝ち切れなかった試合をバネにしてひと皮むければ、大幅なランクアップも見込める。

40th 2015～16 Season

北　陸　電　力

３年後の地元国体を見据え大きく様変わり。櫛田、赤塚の両ベテランが引退、移籍し、平均年令22.7才と若返った。『経験』という部分では不安な面を残すが、その分、若い選手たちらしく『勢い』もあるだろう。主軸は切越や須坂、ポスト小川、センター池上ら。とくに須坂は強打が持ち味で、今シーズンからキャプテンも務める。攻守での負担は大きいものの、年代別日本代表を経験しているとあって、前田監督からの期待は大きい。２シーズン連続で全敗と苦しい状況が続いているが、１つの勝利が若いチームの流れを変えるはずだ。まずは１勝に全力を注ぎたい。

TEAM PREVIEWS　女子

北　國　銀　行

昨シーズンは全日本社会人選手権、国体に続き、地元で行なわれたプレーオフを制覇し３冠を達成。今シーズンもここまで２冠と強さを発揮している。横嶋かおる・彩の姉妹がセンターラインで絶妙なコンビネーションを見せ、そこから塩田、角南の両バックへ展開するのが大きな武器だ。日本代表組が不在の国体では、ケガから復帰した後藤をはじめ、河田らが活躍。期待の永田も多くの経験を積むなど選手層も充実している。守ってはＧＫ寺田が安定感を増している。メンバーの大きな変更なく戦えるとあって、３月に再び優勝旗を手にする可能性は高いと見ていい。

オ　ム　ロ　ン

絶対的なエースとして君臨していた左腕・藤井がチームを離れ、チームが転換期を迎えようとしている。今シーズンはＧＫ藤間、東濵、永田ら主軸の活躍はもちろん、長いシーズンを考えると新しい選手の台頭が待たれる。逆に言えば、これまでチャンスが少なかった選手にとってブレイクのきっかけになる可能性も。ロングヒッター吉田、リズムを変えられる末吉ら好素材は多い。また、経験に裏打ちされたここ一番の勝負強さはリーグ随一。短期間でもチームを仕上げてくる黄慶泳ヘッドコーチの手腕にも期待したい。これまで勝ってきた経験は、最後の最後に活きるはずだ。

広島メイプルレッズ

最もメンバーが入れ替わったのはこの広島。新たに迎えた金明恵監督をはじめ、増田、高橋らが引退したバックプレーヤー陣は総入れ替え。宋海林も退団し韓国へ帰国した。そうした中で、責任が大きくなるのはポストの高山と門谷、松村の両サイドだろう。高山は得点力が高く、ロングシュートも打てる。チームを引っ張れる頼もしい存在だ。門谷、松村はルーキーイヤーの前回大会からフル稼働。とくに松村は日本代表にも選ばれただけに、今シーズンはレベルアップが求められる。この３人を軸に、笠木、木田らがどこまで絡めるかが、チームのデキを左右するだろう。

ソニーセミコンダクタ

５月の全日本社会人選手権では出遅れが響き６位と過去最低順位だったが、10月の国体では奮起。オムロンなどを下し決勝へ進出し、北國銀行の石川に敗れたものの、収穫多き準優勝となった。とくに、長らく肩のケガで苦しんでいた左のロングシューター山野が復帰したのは大きかった。ほかにも藤田、ＧＫ網谷らが存在感を示した。開幕に向けて何人かケガ人はいるものの、日本代表でキャプテンを務める本多の復帰は心強い。田中、ＧＫ飛田のベテランコンビも健在。川﨑、安倍で中央を固め、ＤＦから速攻を量産できれば、上位３チームとも互角以上の戦いができるはず。

三重バイオレットアイリス

新加入４選手とともに、３月で現役を引退した櫛田監督を招聘したのは大きな目玉だ。初陣となった５月の全日本社会人選手権ではさっそく手腕を発揮。ソニーセミコンダクタらを下し３位に入賞した。チームの中心は、攻守で欠かせない大黒柱の原とテクニックが光る池原の日本代表コンビ。加藤、多田のバックプレーヤー陣も伸びてきている。社会人選手権で新人賞を受賞した河嶋にも注目したい。そして漆畑、万谷らが若いメンバーをまとめあげる。今大会はリーグ参戦10年目と、節目のシーズンにチーム史上初のプレーオフ進出を狙う。

飛騨高山ブラックブルズ岐阜

前回大会は６位。前々回から順位こそ変わらないものの、５位の三重バイオレットアイリスと１勝１分１敗と互角の結果を残した。３位・広島メイプルレッズとも25－26と１点差の接戦を演じるなど、着実なレベルアップを果たしている。上昇気流の流れに乗って、今シーズンも勝ち星を伸ばしていきたいところ。新戦力としては、広島から移籍してきた経験豊富なＧＫ田口を筆頭に、スピードが豊かなユニバーシアード代表の田中ら４選手。エース金恩恵、チームの精神的な支柱を担う池之端、比嘉（桃）ら既存の戦力もさらなる奮起を誓っている。

ＨＣ名古屋

６勝を目標に掲げた昨シーズンは、なかなか白星を奪えず18戦全敗という結果に終わった。それだけに、今シーズンは１つでも多く勝利すること、そして第32回大会から続く最下位脱出が大きなミッションになっている。メンバーでは長年チームを支えてきた高橋が引退。エース福井や細田の負担は大きくなるものの、ルーキー川下の働きには期待したい。同じく新人の髙宮は、大学日本一の経験もある左腕サイドだ。８月の国体予選で飛騨高山ブラックブルズ岐阜の岐阜に勝利。シーズン前に得た手応えを胸に、16人全員が一致団結し、目標を達成したい。

第39回 日本リーグ表彰一覧

賞	〈男子〉				〈女子〉			
・最高殊勲選手賞	久保　侑生	（大同特殊鋼）		２回目	塩田　沙代	（北國銀行）		初
・最優秀監督賞	末松　　誠	（大同特殊鋼）		３回目	荷川取義浩	（北國銀行）		２回目
・殊勲選手賞	木村　昌丈	（大崎電気）		初	藤間かおり	（オムロン）		初
・最優秀選手賞	棚原　　良	（琉球コラソン）		初	横嶋　　彩	（北國銀行）		初
・ベストセブン賞	甲斐　昭人	（トヨタ車体）		２回目	寺田三友紀	（北國銀行）		初
	高智　海吏	（トヨタ車体）		初	藤井　紫緒	（オムロン）		６回目
	信太　弘樹	（大崎電気）		２回目	横嶋　　彩	（北國銀行）		初
	棚原　　良	（琉球コラソン）		初	宋　　海林	（広島メイプルレッズ）		３回目
	小室　大地	（大崎電気）		初	高山　智恵	（広島メイプルレッズ）		４回目
	豊田　賢治	（大崎電気）		７回目	勝連　智恵	（オムロン）		２回目
	松本　雅史	（トヨタ自動車東日本）		初	鰍場　雅予	（北國銀行）		初
・ベストディフェンダー賞	千々波英明	（大同特殊鋼）		初	塩田　沙代	（北國銀行）		初
・新人賞	小塩　豪紀	（豊田合成）			松村　杏里	（広島メイプルレッズ）		
・得点王	棚原　　良	（琉球コラソン）	126点	初	横嶋　　彩	（北國銀行）	117点	初
・フィールド得点賞	棚原　　良	（琉球コラソン）	99点	初	高山　智恵	（広島メイプルレッズ）	108点	２回目
・シュート率賞	豊田　賢治	（大崎電気）	0.779	２回目	八十島智美	（北國銀行）	0.824	初
・７mスロー得点賞	棚原　　良	（琉球コラソン）	27点	初	横嶋　　彩	（北國銀行）	35点	初
	樋口　　睦	（湧永製薬）	27点	初				
・７mスロー阻止率賞	川添　将典	（北陸電力）	0.529（9/17）	初	山中絵里奈	（オムロン）	0.385（10/26）	初
・シュート阻止率賞	甲斐　昭人	（トヨタ車体）	0.412（186/452）	３回目	藤間かおり	（オムロン）	0.483（217/449）	２回目
・フェアプレー賞	大同特殊鋼	75点／16試合	（4.688点／試合）	６回目	飛騨高山ブラックブルズ岐阜	85点／18試合	（4.722点／試合）	初

〈審判表彰〉

・最優秀レフェリー賞　池渕　智一・檜崎　　潔　　・最優秀新人レフェリー賞　水野　　遼・山田　祐輔

・優秀レフェリー賞　太田　智子・島尻真理子

第39回 日本リーグ成績

男子･プレーオフ成績

大 崎 電 気（通算１位）31 － 27 琉球コラソン（通算４位）

トヨタ車体（通算２位）23 － 26 大同特殊鋼（通算３位）

決勝：大崎電気 19 － 23 大同特殊鋼

優勝　大同特殊鋼（４年連続18回目）

女子･プレーオフ成績

北 國 銀 行（通算１位）31 － 20 ソニーセミコンダクタ（通算４位）

オ ム ロ ン（通算２位）23 － 19 広島メイプルレッズ（通算３位）

決勝：北國銀行 23 － 18 オムロン

優勝　北國銀行（４年ぶり２回目）

〈男子順位〉

１位　大同特殊鋼
２位　大崎電気
３位　トヨタ車体
４位　琉球コラソン

〈女子順位〉

１位　北國銀行
２位　オムロン
３位　広島メイプルレッズ
４位　ソニーセミコンダクタ

レギュラーシーズン結果

男　子	勝	分	敗	勝点	得点	失点	差
① 大崎電気	16	0	0	32	524	395	129
② トヨタ車体	14	0	2	28	527	412	115
③ 大同特殊鋼	10	1	5	21	405	372	33
④ 琉球コラソン	7	1	8	15	420	409	11
⑤ トヨタ自動車東日本	7	1	8	15	436	472	-36
⑥ 湧永製薬	6	2	8	14	446	435	11
⑦ 豊田合成	5	0	11	10	406	480	-74
⑧ トヨタ紡織九州	3	3	10	9	411	450	-39
⑨ 北陸電力	0	0	16	0	346	496	-150

女　子	勝	分	敗	勝点	得点	失点	差
① 北國銀行	18	0	0	36	498	297	201
② オムロン	14	0	4	28	444	288	156
③ 広島メイプルレッズ	13	0	5	26	466	356	110
④ ソニーセミコンダクタ	9	0	9	18	422	383	39
⑤ 三重バイオレットアイリス	4	1	13	9	373	441	-68
⑥ 飛騨高山ブラックブルズ岐阜	4	1	13	9	299	422	-123
⑦ ＨＣ名古屋	0	0	18	0	211	526	-315

※男女とも１～４位はプレーオフ結果による

第7回チャレンジ･ディビジョン

第７回チャレンジ・ディビジョンは９月12日からＡ、Ｂブロックとも８チーム総当たりリーグの熱戦が開幕。新潟で行われたＡブロックはＨＣ岐阜が同朋クラブ、東北福祉大学に快勝した一方、Ｂブロックは、ＨＣ同志社とボンチフェローズがともに２連勝と好調なスタートを切り、前回２位のHONDAはSOCIO OSAKAに１点差で競り勝った。

このあとリーグ戦は来春２月14日まで続き、２月27、28日に愛知で決勝トーナメント・順位決定戦が行う。

〈Ａブロック〉

10月10日新潟･柿崎総合運動公園体育館

ＨＣ岐阜49（22－10、27－８）18同朋クラブ

東北福祉大学28（15－11、13－16）27チーム新潟

10月11日・同

チーム新潟29（11－10、18－７）17同朋クラブ

ＨＣ岐阜38（13－12、25－10）22東北福祉大学

〈Ｂブロック〉

９月12日京都・田辺中央体育館

ボンチフェローズ35（15－12、20－８）20HC･MKA奈良

HC同志社30（16－15、14－11）26八光自動車工業

HONDA24（13－８、11－15）23SOCIO OSAKA

10月12日奈良･生駒市市民体育館

ボンチフェローズ30（14－13、16－15）28HSV Herausforden

HC同志社31（15－９、16－13）22HC･MKA奈良

選手･役員登録情報

〈大同特殊鋼〉

・登録抹消　№23 村田　知紀

〈豊田合成〉

№14　樋口　睦　1987.05.05
180cm 80kg 右 汐路中→愛知高→筑波大→湧永製薬
※開幕から出場可能

・登録抹消　No.7　桶谷　英則